

東日本の各地域と東京大手町エリアが高品質な光ファイバネットワークでつながります！

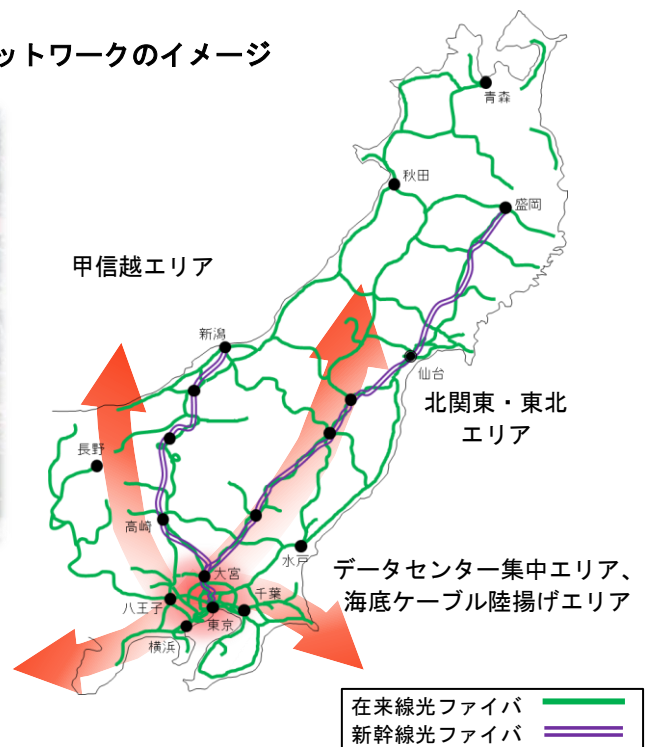
～ 光ファイバ相互接続による広域なネットワークの提供開始について ～

- 東日本旅客鉄道株式会社（本社：東京都渋谷区、代表取締役社長：深澤 祐二、以下「JR東日本」）と丸の内ダイレクトアクセス株式会社（本社：東京都千代田区、代表取締役社長：横山 典宏、以下「MDA」）は、両社が保有する光ファイバを相互接続させることにより、広域な光ファイバネットワークをご提供します。
- 拠点間の直線的な接続を強みとする JR 東日本の光ファイバと、大手町・丸の内・有楽町エリアの光ファイバネットワークを強みとする MDA の光ファイバを組み合わせることで、「高品質」、「低損失」、「高信頼性」の光ファイバネットワークをご利用可能です。
- 特に、JR 東日本沿線のデータセンターや海底光ケーブル陸揚げエリア等から、大手町のインターネットハブへのアクセスが可能となり、お客さまのニーズにお応えします。
- 両社のインフラを起点とし、光ファイバでも都市と地域のつながりを活性化することで、地域社会の発展、DX の推進に貢献します。

ご提供する光ファイバネットワークのイメージ



大手町・丸の内・有楽町エリアとつながる
光ファイバネットワーク



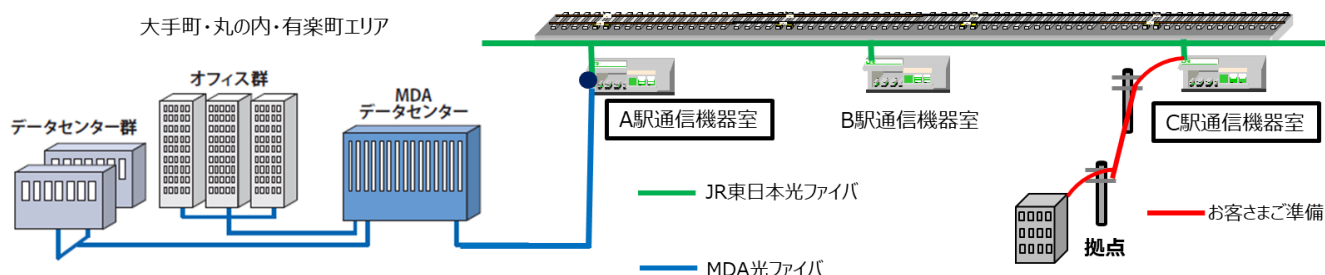
1. ご提供開始時期

2023年4月1日より申し込み受付を開始します。

なお、ご提供できる光ファイバ心線数については、線区や区間、横断管路等の状況によって異なりますので、お客さまの希望される区間や光ファイバ心線数、その他条件をお聞きしたうえでの回答となります。

2. 基本的な光ファイバネットワーク接続構成

大手町・丸の内・有楽町エリアから JR 東日本沿線エリアまで両社で光ファイバネットワークを構築します。接続先となる駅の通信機器室から拠点の目的地までは、お客さまでご準備いただきます。



3. 光ファイバネットワークのご活用の一例

日本最大の IX^{*}拠点である大手町・丸の内・有楽町エリアから各拠点まで直線的に接続することにより、都市と地域間のネットワーク構成を「高品質」、「低損失」、「高信頼性」で実現できます。

※IX：Internet Exchange。インターネットに接続する際、さまざまな事業者のネットワークを相互接続する拠点（活用例）

- 東京駅周辺（大手町）から各方面へのネットワーク展開
例：品川や豊洲、印西などのデータセンター集中エリアや海底ケーブル陸揚げエリア等
- データセンターや企業の本店・支店間の接続
- 堅牢な洞道や管路に敷設された障害や災害に強い光ファイバによる都内と地方間のネットワーク構築

4. 光ファイバネットワークの拡大に向けた今後の展開

- お客さまのご利用ニーズが高いエリア（例：印西や海底ケーブル陸揚げ局の最寄駅等）における光ファイバネットワークの事前構築を検討
- データセンター間を事前に接続しておくことによるお客さまご利用ニーズの実現に向けた検討

5. お問い合わせ

ご利用については、JR 東日本、または MDA までお問い合わせください。

- JR 東日本
 - ・ サービス概要：<https://www.jreast.co.jp/cable/>
 - ・ 問合せ窓口：<https://form.qooker.jp/Q/ja/cablefiber/form/>
- MDA
 - ・ サービス概要：<https://www.directaccess.co.jp/opticalfiber/>
 - ・ 問合せ窓口：<https://www.directaccess.co.jp/contact/>